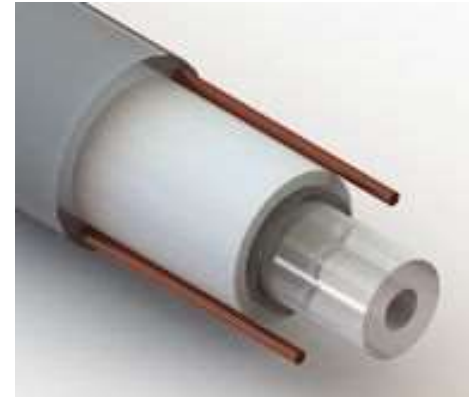


ハイパワーレーザー向け 銅線入りセーフティファイバー

CeramOptec®

セーフティファイバーはナイロン被覆内に2本の細い銅線が組み込まれており、ファイバが破損した場合、銅線導体は破壊され、回路は遮断されます。ファイバとビーム源の間の境界面で誤動作が発生した場合も、接触障害が発生します。これによりファイバーの破断が検知されます。

本ファイバーは、破断が検知された際にレーザー回路が遮断される保護システムなどに応用され、医療用や工業用のハイパワーレーザーのユーザーは有害なレーザー放射から保護されます。銅線を入れる技術は、CeramOptec社のすべての標準的なファイバー製品に対して行うことが可能です。



<特徴>

- 内蔵の銅線でファイバー破断検知
- すべてのCeramOptec社ファイバーに対応
- 銅線径：50um, 100um, 150um（選択可能）
- カスタム対応可能

<用途>

- 光ファイバー破断時のレーザー回路遮断システム
- 工業用ハイパワーレーザー
- 医療用レーザー
- ユーザーへの有害レーザー照射保護システム



アルミニウムコーティング 石英光ファイバー

CeramOptec®

<特徴>

- 過酷環境での耐性（温度、真空、有機溶剤）
- ファイバー冷却が容易
- すべてのCeramOptec社ファイバーに対応
- カスタム対応可能

